

## 熊本都市計画区域マスタープランの変更の必要性及び理由

都市計画区域マスタープランは、都市計画法の改正を受けて平成 16 年 5 月に当初策定した。その後、平成 20 年から平成 21 年にかけて旧熊本市と旧富合町、旧植木町及び旧城南町が合併し、平成 24 年 4 月に政令指定都市へ移行したことに伴い、同プランを変更した。さらに、平成 27 年 5 月には、2 回目の変更を行っている。

前回策定から約 10 年が経過する間に、少子高齢社会の進行、熊本地震や豪雨災害の発生、半導体関連企業の集積、桜町バスターミナルの開業、熊本西環状道路の整備、都市計画法の改正など、都市を取り巻く状況に大きな変化が生じた。これらの社会的・経済的・法制度的な変化を踏まえ、都市計画区域マスタープランの見直しを行う必要があることから、今回変更を行うものである。